

江戸川区の18年度予算について 区議会定数2名・削減

18年度の一般会計予算・約1879億円(医療・介護保険等を除く)が2月21日～3月24日に開催されました第一回本会議・予算委員会等で審議され可決されました。

一般会計と同時に国民健康保険595億円、老人医療339億円、介護保険223億円の各特別会計予算を含め総額・3038億円が今年度の区民全体の生活予算になります。

区が東京都とから①財政調整で受ける金額は755億円、約40%、②区民から直接、頂く区税は419億円で約22%余、③国や都から交付される補助金が383億円、約20%です。

残りの約300億円余17%は消費税、譲与税、使用料、区債等で構成されています。

支出面で一番大きく占めているのが子育て・熟年・生活弱者に対する福祉費、約767億円・全体の40.8%を占めています。

議会費は23区の中で一、二の低い割合になっています。

又、議員定数を46名→44名に二人の削減を決め、来春四月の区議会選挙から適用する事になりました。

街づくり、商工、環境や健康など教育予算を含め幅広く各、予算細目について区民に如何に生かされるべきか慎重に審議され決まりました。

予算の一番の鍵は財源の中で要となるのは都が徴収して都と23区が分け合う法人事業税、都市計画税など調整三税、約1兆6582億円を都が48%、約7900億円、23区が52%・約8600億円と分け合いそれぞれの財源とし、その内、本区は755億円を一般会計に当てています(一番大きな財源です)。

しかし、清掃事業・収集運搬の移管をはじめ学校施設等、更新経費の見方など事務分担のあり方をめぐり、調整3税の都区配分割合の取り合いが続いています。

23区は都に対し52%から57%への変更を求めており、昨年から話し合われましたが52%プラス200億円という変則的な妥協で終わり区側として不満が残りました。



時間に追われ皆様と語り合う場が少なくなり申し訳なく思っています。

(議長室にて・2月21日)

東京都と23区・区長会の財政調整交付金の交渉が難航していましたが事務分担、事業見直し等の課題を新たな協議会で続ける事を確認し区長会は18年度、従来の52%+200億円で一応の決着がつかしましたが23区議長会は都に対し区側の要望を更に入れよとの決議を提出しました。



事務局の打ち合わせの雰囲気を感じてください。誰でも自由に発言します。参加をお待ちしています。



議長就任祝賀会開催

昨秋、11月29日タワーホール・700名余の皆様のご参加を戴き盛会に開催する事が出来ました。ありがとうございました。

地域の課題

松島・中央・松江地区 (地区毎のニュース)

区役所の本庁舎南棟の耐震工事と玄関、庁舎周りの大幅な改修工事が行われます。

始まりますと窓口も移動したりします。

現在、区役所～大杉橋～鹿骨区民館～篠崎駅間のバス路線新設の申請をしています。(2ヶ月ほど遅れます)

京葉道路交差点の拡幅と八蔵橋までの船堀街道の歩道整備が計画されています。

松江図書館を建て替えますが中央図書館もあり図書館機能とコミュニティ施設等を主体に考え現在、地域連町、各種利用団体と構想について意見を頂き設計に取り組んでいます。

他にも安全な町造りに向けて各地区に街造り協議会を立ち上げてほしいと思っています。